

[フロントライナー] Frontliner

株式会社日本保健衛生協会
第1事業部
サニタリーグループ
発行責任者/有本由伸

スタッフの皆さん、日々の業務にご尽力いただきありがとうございます。

毎日暑い日が続いていますが、皆さん夏バテなどしていませんか。

昨今の頃は東京オリンピックが閉幕し、次はパラリンピックの開幕を待っていた頃でしょうか。新型コロナウイルス流行のため、緊急事態宣言下での無観客大会でしたが、今年もいぜん新型コロナ「第7波」の感染拡大が続いています。

ただ昨年と異なり、お盆期間に帰省や旅行に出かける人が、(コロナ禍前の2019年に比べると少ないですが)昨年より増加しているのだそうです。

ただしこの「第7波」の拡大で医療機関の逼迫が起きている地域もあるため、帰省や旅行先で体調を崩しても必要な医療をすぐに受けられない恐れがあるそうです。

まとまったお休みとなると、つつい気がゆるんでしまうかもしれませんが、これまでと変わらず感染対策を励行して、感染リスクの高い行動は控えるようにしましょう。

旅行先で注意するポイント

旅行前

- 日ごろから体温測定や健康チェックを行い、体調管理に気をつけましょう。



- 発熱や風邪の症状がある場合、無理をせず旅行に出るのは控えましょう。



旅行中

- 車内や機内のおしゃべりは控えめにしましょう。



- マスクや消毒液、解熱剤などの市販薬を用意しておきましょう。



今月の事故事例

7月に当社の現場で3件の事故が発生しました。
それぞれの事故の発生原因をみてみましょう。
自分たちの現場でも同様の事故が起こる可能性を考えてみましょう。

事例① 自動床洗浄機を自動扉に衝突させた

発生状況	<p>清掃スタッフが自動床洗浄機を移動させて自動扉を通る際、床洗浄機を扉に衝突させてしまった。</p> <p>その場で先方職員の方に報告し扉を確認してもらったところ、自動扉が作動し損傷も確認できなかったため、当社担当者には報告しなかった。</p> <p>その後、当該の自動扉から異音があると先方から確認依頼があったため、当社は今回の事故を知ることとなった。</p>
発生原因	<ul style="list-style-type: none">●自動扉のセンサーが自動床洗浄機を必ず感知するとはかぎらず、清掃スタッフも前方をしっかりと確認せずに進んでしまった。
問題点	<ul style="list-style-type: none">●事故が発生した直後は問題がなかったため、本社担当者には報告しなかった。
対策	<ul style="list-style-type: none">●自動床洗浄機で自動扉を通る際は、一旦停止し、清掃スタッフ自身で自動扉を開けることとする。●自動扉では一旦停止する旨の注意書きを、床洗浄機ハンドル部に貼付して注意喚起する。●自動床洗浄機の操作方法と操作上の注意点について実地研修した。●事の大小を問わず、問題が発生したときは速やかに本社担当者に報告する。



失敗やトラブル、クレームはすぐに報告しましょう

失敗やトラブル、クレームがあったときは、まず本社担当者に連絡しましょう。
そして現状をありのまま報告し、本社担当者の判断を仰ぎましょう。
そうすれば善後策をすばやく講じることができ、その後の影響を最小限に抑えることができます。

お仕事をするうえで、失敗やトラブル、クレームはつきものです。
大切なのは、その後どのように対応するかです。
失敗やトラブル、クレームを糧にして業務に生かすようにしましょう。



事例② モニターのカバーを破損させた

発生状況	手術室準備のため器具庫からサブモニターを運び出す際、モニター画面に掛けていたカバーが他の器械に接触し脱落した。 その際、カバー右下の角部分が破損してしまった。
発生原因	●器具庫内は ME 機器が多く作業範囲が限られているにもかかわらず、十分な移動スペースを確保せずに搬出しようとした。 ●モニターカバーはベルクロで固定しているだけなので、少しの衝撃で外れやすい状態だった。
対策	●他の機器と接触しないよう前後左右に十分な作業範囲を確保したうえで、周辺との位置関係を見ながら慎重に搬出する。 ●カバーを固定していたベルクロを、2本のベルトに交換して落下しないようにした。

事例③ パルスオキシメーターを破損させた

発生状況	手術室清掃で麻酔器に接続されているパルスオキシメーターのコードと本体を清拭する際、コード先端に付いている本体が床に落下し、その衝撃で破損してしまった。
発生原因	●麻酔器の上に置いてあったパルスオキシメーターを清拭する際、麻酔器との接続部分のコードから清拭し始めたので、コード先端の本体が床に落下してしまった。 ●コード先端の本体の材質が、割れやすい樹脂製であるとの認識がなかった。
対策	●パルスオキシメーターを含めどの器具もコードが長いので、清拭する際は先端の本体(器具)側が周囲の壁や物に当たったり床に落ちたりしないように、まず先端の本体(器具)側を手術台の上に置いてからコードの清拭を行う。



今回の事例①～③の原因は以下の点にもあるかも・・・

●危険軽視、慣れ
不注意

人は慣れたところに事故を起こすとよく言われます。仕事を始めたころは気をつけていたことも、少しずつ気を抜いてしまい危険を軽視してしまいます。
また危険を軽視していなくても、不注意でミスが起きることもあります。

●近道、省略

定められた手順を守らなかったり、面倒くさいからと本来すべき手順を行わなかったりすることで起きるミスです。

●一点集中

注意が一点に集中してしまい、他のことを見落としてしまうことで起こるミスです。